

令和3年度 第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

1 日時 令和4年3月21日（月・祝）午後2時00分から午後3時30分

2 場所 大矢知地区市民センター

3 出席者（順不同・敬称略）

【委員】

小澤 毅委員長、木村弘子副委員長、西 さが委員、渡邊重信委員

【事務局】

四日市市教育委員会 社会教育・文化財課 伊藤早百合（課長）、葛山拓也（副参事兼課長補佐）、
清水政宏、三厨浩希、石田智洋、大原涼子、大野路彦

4 傍聴者 なし

5 会議録（要旨）

（1）開会

あいさつ（略） 伊藤早百合 社会教育・文化財課長

（2）報告事項

委員長：事務局より報告をお願いしたい。

①令和3年度事業報告について

・公園保存、活用、ボランティア活用、維持・管理（事務局より説明）

委員長：質問および意見はあるか。

「八脚門壁唐戸補修工事」は壁と唐戸の補修ということか。

事務局：「八脚門壁補修工事」は別にあるため「八脚門唐戸補修工事」と訂正する。

委員長：ボランティア活動の項目で、新型コロナまん延防止法発令とあるが、法律ではなくまん延防止等重点措置であり、このあたりの用語の使い方は正確にしていきたい。

事務局：了解した。

・学校関係活用について（事務局より説明）

委員長：令和3年度事業報告について質問および意見はあるか。

令和3年度と令和2年度の実績を比較した資料で、対象とする期間が違うことを明記した方がよい。令和2年度は令和2年11月～令和3年3月などと示し、いずれにしても対象となる期間が違うことを明記する。また YouTube だけ全角となっているので、半角に揃える。

利活用は利用と活用を合わせた言葉だが、どちらかでよいのではないか。

提案資料では学校関係活用と使っているなので、活用でよい。学習時期について、「小学校は6月中旬頃、中学校は11月下旬頃と推測される」などと助詞を補った方がよい。

委員：課題として「朝明中学校以外の中学校活用実績0」となっているが、「朝明中学校以外の中学

校活用実績なし」などと明記した方がよい。

委員：今動画を見たが、率直に申し上げてピンとこない。小学校を呼ぶのか中学校を呼ぶのかにも関わってくるのだけれども、例えば時代背景、これができたときはこんな時代なのだから、時代をいろいろ説明するとか、そこで使われているものはこのような使われ方をしているとか、もう少し大きく、児童生徒が勉強になる、それが当時の歴史の勉強に興味をもつきっかけになってほしい。あのぐらいのビデオを見せるのではだめだ。もうちょっと、大がかりな歴史を見せるなど、もうちょっとやる気になってやらなければならない。歴史を勉強していく際のきっかけづくりとして、四日市市全体でどう活用していくのか考えていく。そのなかに天武天皇御遥拝所などいろいろあるだろう。実際に学んでいく、動画を視聴していく中で学んでいく。意義ある遺跡にしないといけない。

委員長：令和3年度事業報告から令和4年度事業への提言を受けたと考えて、3. 協議事項、令和4年度事業を提案していただいてよいか。

委員：よい。

(3) 協議事項

委員長：事務局より説明をお願いしたい。

① 令和4年度事業について

・公園保存、活用、ボランティア活用、維持・管理（事務局より説明）

委員長：質問および意見はあるか。

委員長：Wi-Fiの設置に関して説明があったが、3月の議会に設置の要望を挙げているということでよいか。

事務局：そのような状況である。

委員長：通れば、令和4年度の事業として入ってくるということでよいか。

事務局：そのとおりである。

委員長：入らないあるいは通らなかったということになれば、引き続き要望を挙げていくということでよいか。

事務局：入らない場合は学校や関係機関の活用実績など実績でもって、要望を挙げていきたい。

委員長：Wi-Fiが導入されれば、ARやVRなど拡張現実が可能となってくる。引き続き活用が可能な方策を取ってもらいたい。このご時世であるので、積極的に使える技術は使っていくというのが肝要かと思う。

委員：ホームページも見せていただき、子どもたちの学習に活用させていただいた。ただ、1回見たら終わりだった。次々と見たいと思うようなホームページにはなっていない。素敵な衣装を着てもらって努力を感じる。著作権の関係もあるかもしれないが、次々学んでいけるようなリンクを貼るなど子どもたちが学びに使えるようなホームページにさせていただけるのも一つかと思う。学校もそうだが、ホームページを毎日更新すると、保護者さんも見てくれる。行事毎だけでなく、たわいもないことでよいので、こんな花が咲きましたとかこんな虫が来ましたとか小さいことでもよい。小さいことでもホームページが一番の強みになるような取り組みにしていくとよい。今子どもたちは一人一台タブレットで、タブレットをもって社会見学をするような時代になっている。Wi-Fiがあつたら、写真を撮ったり、いろんなことをしながら見学

するとか、見学の仕方も変わってくる。例えばQRコードなどもあって、読み込んだらそこで映像が見られるとか一人一人が学べる施設にしていただけると、来館者数も増えたり、社会見学も増えたりするのかなと思う。ぜひ今の時代にあった施設にさせていただくとよい。

事務局：予算上、なかなか厳しいものがある。Wi-Fi、バスの一括借り上げ、いずれも厳しい。

委員の方から、ちょっと本気度が足りないのではないかというご指摘をいただいた。予算要求をしていくにあたっては、私共の考えを明確にし、学校、子どものねらいとする部分がどこにあるのか把握する。それに応じて学習指導案の方を提示するなど実績を積んだうえで、財政当局の方に予算要望をしていくべきと思う。

委員：その考え方が違うのではないか。実績を積んでから予算を取っていくのは少しずつ積み上げることはできる。そういうレベルではなしに、小学校・中学校すべてのプログラムに取り入れるという気概が必要だ。そのためにはバスもいるでしょという話だ。それに耐えられるだけの教育プログラムにしなければならない。そうするとアニメーションにしてもプロを入れて、動画などを作らなければならない。その枝葉に木簡もあり勾玉もありという話になる。木簡だけで人を集めるというのはなかなか難しい。四日市市の歴史教育の在り方のようなことを活用しようじゃないかということで市長や教育長のレベルまで話題に出しなさいと発言した。あなたの方が課のレベルで積み上げていくというレベルではないのではないか。

事務局：最後に申し上げようと考えていたが、私共社会教育・文化財課は教育委員会から移管され、市長部局となる。シティプロモーション部となるが、さらに学校活用や市内外への発信などを進めていってほしいという意見をたくさんいただいている。さらに活用を進めていきたい。

委員長：今は上からの押し付けではなく、子どもたち、市民も含めアクティブラーニング、自分から進んで学ぶということが求められているので、1人1台タブレットの時代でもあるし、Wi-Fiは最低必要だと思う。これまでの久留倍官衙遺跡の保存・整備にかかった費用と比べれば雲泥の差といえるくらいの価格なので、ぜひ強く要求し、取り組みを続けていただきたい。動画を拝見して、頑張っているなどは感じたが、面白くないと感じた。プロに頼むのかどうかは別として、もう少し工夫をする必要がある。三重県教育委員会社会教育・文化財保護課が社文課テレビというのをつくっており、かなり視聴もされている。いろいろな対象を取り上げていて、伊藤文彦さんという役者もいいのかもしれないが、結構面白い。役者に向けた方はおられると思うので、面白く見せるということを考えていただければと思う。また、いきなり「郡司」と言われても分からない。来館者の要望を入れながら動画作成に取り組んでいただきたい。

・学校関係活用について（事務局より説明）

委員：それはどこかで考えていただいた指導案か。

事務局：課の中で練らせていただいて作成した。夏季教職員研修でも配付させていただいた。今年は木簡を使った授業ということでさせていただいた。木簡に関わる場所の授業を終えてから、体験していただくということで、考えさせていただいた。

委員：もしこれから検討していくということであれば、「のびゆく四日市」というのを小学校3年生4年生に向けて出しているが、社会科の担当の者が編集にも大いに関わっている。「のびゆく四日市」にもQRコードがついていたりする時代なので、ぜひどんなふうに進めていくと、四日市全体に広がっていくか、何か社会科の集まる会議等で何かどうしていくと活用できるかなどぜひ教員の力も借りていただきたい。

委員長：ぜひ専門の先生方の考えも入れながら、いいものをつくっていただきたい。

バスの一括借り上げは難しいという話であるが、交通の便がよいところではないので、何らかの方策を模索しつつ進めていただけないか。時間単位となれば、それほど高額ではないと考えるが。

事務局：バス会社等との話し合いをまだしていないので、投げかけてみて、どのように進めるのかというところを検討していただきたい。四日市港湾組合さんの方で、港を見学する際、バスを無料で出していただくことができるということ、それも予約制なので都合が悪い時があるのだが、バスを活用して久留倍の公園も回って頂くというバスを出していただけるので、活用しながらPRもしていきたい。

委員：でも1台しかないので、3クラスなどある学校には難しい。

委員長：時間単位で借りる場合、それほど費用がかからないのではないかと思う。それをお伝えし、各学校などに伝達する方策を考えていただきたい。

②令和3年度の事業評価（事務局より説明）

委員長：①の保存は評価の対象外ということでよいか。

事務局：はい。

委員長：順番にご意見を伺いたい。「公園ホームページの更新」であるが、どのくらいの頻度で更新をしているのか。

事務局：イベント時にはPRをふくめて更新をしている。更新としては20回ほど更新している。

委員長：このあたりも実績として記入していただきたい。

委員：やはり回数が少ない。本当に些細なことでもよい。ちょっと試してみようかなと思えるようなホームページの更新をしていただきたい。日常的に今日この花が咲いたとかその程度でもよい。行ってみようかなと思えるようなきっかけづくりにしてほしい。

委員長：遺跡に関わらなくてもよいので、日常的なことにふれるようなページがあってもよい。したがって情報発信のホームページ更新については△という評価で。

委員：〇〇小学校が来てくれました。というようなことも発信していったらどうか。

委員長：まつり（史跡ウォーク、コンサート）の実施についてはどうか。

委員：コンサート参加させていただいたが、すごく素敵なイベントであった。直接かかわらなくとも、こんなところでこんなことができるんだといういい発信になった。ぜひぜひ来年度も続けていただきたい。

委員長：そういった喜びの声もあるということで、市民参加型イベントの実施、まつり（史跡ウォーク、コンサート）の実施については〇という評価にしてよいか。厳しい状況下でも頑張ってもらい、他地域との連携では斎宮でもパネル展示をしていただいた。コロナが収まったらさらに連携を深めていただくということで、他地域との連携、斎宮跡連携事業については〇でよろしいか。

委員：はい。

委員長：市博物館での出張展示についてはいかがか。

委員：アサギマダラの展示と博物館の展示と連携して、久留倍のことを知ることができた。

委員長：〇ということでよいか。

委員：はい。

委員長：来館者数としては、コロナ禍の中で、十分来館者数を確保していただいた。○でよいか。

委員：はい。

委員長：魅力発信にかかわって、夏や秋の企画展、ミニ展示について十分していただいた。○でよいか。

委員長：講座開催については十分していただいた。来年度は回数なども明示してもらいたい。季節ごとのイベント開催についても面白そうな企画をしていただいた。両者○ということによいか。

委員：はい。

委員長：学校教育への活用に移る。夏季教職員研修会2回、一般教員向けと若手教員向けに分かれた。これも回数を入れてほしい。十分だということで○でよいか。

委員：はい。

委員長：学校訪問、関係機関での提案というのは、事業報告ではどこにあたるのか。

事務局：資料2 令和3年度事業実績（成果）報告及び課題 学校関係活用 今年度実績11回、昨年度5回となる。

委員長：十分ということによろしいか。

委員：はい。

委員長：YouTube 動画の遺跡説明動画の作成（タブレット対応教材）については十分ということによいか。

委員：見せてもらわないと分からない。一つ一つの項目でということならそうだが、もっと大きな範囲で評価もしていかなければならないと感じる。狭い範囲でなく、より広い範囲で評価をしていかなければならない。

委員長：ここは個別案件について評価していくということにしたい。

事務局：小中学校の受け入れ（社会見学等）は延べ数から言うと昨年度は8校、今年度は22校となる。十分であるという評価でよいか。小中学校への出前講座については、令和2年度については4校、令和3年度については8校となっている。

委員長：コロナ禍という状況だったので、十分という評価でよいか。明確に分かるような表し方を行ってほしい。来年度はさらなる活用を期待する。整備にかかわる保護と安全確保、雨水・安全対策にかかわる側溝設置にかかる測量、実施設計、安全対策として公園階段手摺設置はいずれも十分という評価でよいか。

委員：はい。

委員長：④運営・体制の整備は、ボランティアとの連携として、ボランティア活動、展示解説、イベント支援、史跡地植栽についてである。具体的な数値項目はないか。

事務局：普段活動していただいているということで。

委員長：延べ人数608人ということでよいか。

委員：コロナ禍ということで、秋のイベント以降は、ほとんど活動できなかった。歴史館を中心に説明等させていただいているが、できれば上の公園の建物を見ながら説明もしたいと考えている。できれば施設中は職員の方に説明していただいて、公園で利用しているたくさんの人に簡単な説明でもいいのでしてみたいなという考えはある。

委員長：緊急事態宣言が出ている間と、まん延防止等重点措置の発令中は、活動ができなかったが、それを除けばほぼ継続的に活動できたということで、植栽等日常管理を含めてボランティア活動については十分であったとしてよろしいか。

委員：はい。

委員長：ボランティア育成として研修会の開催にあたってはどうか。10月、11月、3月に、ボランティア育成を行っており、十分ということでしょうか。

委員：はい。

委員長：地域団体との連携として公園除草清掃、屋外トイレ清掃、公園鍵管理についてはいかがか。

事務局：年間通じて遅滞なく、怠りなく適切に行っている。

委員長：十分と評価してよいか。

委員：はい。

委員長：施設点検ということで点検票に基づく月1回の施設点検については適切に行っているか。

事務局：はい。

委員長：十分と評価してよいか。

委員：はい。

委員長：施設補修、八脚門、正殿補修は新規事業ということで、先ほどもあったように八脚門については唐戸および壁の補修、正殿についてはベンチ塗装修繕工事をおこなった。十分と評価してよいか。

委員：はい。

委員長：事務局から求められた部分については以上である。事務局にお返す。

4. その他

事務局：今後は委員の皆さんにより評価してもらいやすい形に整える。

委員長：来年度は排水路も整備され、来園しやすい公園整備が整えられる。

委員：もう少し資料について読み合わせをすとか、誤字脱字はまずい。評価をするのであれば、事業には目標や評価基準など明確にする。もう少し工夫とダブルチェックなどの慎重さが必要である。

委員長：今後よりよい方向に事業評価できるよう努めてほしい。また評価するのであれば、まず自己評価をしてから評価を求めるようにしてほしい。

事務局：了解した。

(7) 閉会

事務局：これで、令和3年度 第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会を終了する。